

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月30日

計画の名称	相模原市の下水道における防災・減災対策計画（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	相模原市												
計画の目標	下水道施設の防災・減災対策について、未耐震の下水道施設の耐震化を図る。 下水道施設の老朽化の維持管理について、対処療法的手法から予防保全的手法に転換し、下水道施設の長寿命化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	10,134	A	10,134	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H34
1	1 管渠の耐震化の実施			
	1 管渠の耐震化にかかる工事実施延長 管渠耐震補強工事実施延長／工事実施の総延長（7,800m）	300m	2400m	4500m
2	2 管渠の長寿命化の実施			
	2 管渠の長寿命化にかかる工事実施延長 管渠長寿命化工事実施延長／工事実施の総延長（5,400m）	0m	200m	900m
3	3 ポンプ場の長寿命化の実施			
	3 ポンプ場の長寿命化にかかる工事実施件数 ポンプ場長寿命化工事実施件数（箇所）／工事実施及び設備更新の実施件数（6箇所）	0箇所	3箇所	6箇所
4	4 公共下水道流量中央監視盤の長寿命化の実施			
	4 公共下水道流量中央監視盤の長寿命化にかかる工事実施基数 公共下水道流量中央監視盤長寿命化工事実施基数（基）／流量中央監視盤の全組数（24組）	2組	24組	24組

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="checkbox"/>
相模原市総合地震対策計画、相模原市管渠長寿命化計画、相模原市污水ポンプ場長寿命化計画																

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	相模原市	直接	—	管渠（雨水）	改築	公共下水道管きょ耐震化事業	実施設計（11km）及び耐震化工事（1650×1650～5000×5000㎡馬蹄、更生工法L=4.2km）	相模原市	■	■	■	■	■	8,234		策定済
	「相模原市総合地震対策計画」に基づく事業																		
	A07-002	下水道	一般	相模原市	直接	—	管渠（汚水）	改築	公共下水道管きょ長寿命化事業	実施設計（3.4km）及び長寿命化工事（L=1.4km）	相模原市	■	■	■	■	■	1,193		策定済
	「相模原市下水道ストックマネジメント計画」に基づく事業																		
	A07-003	下水道	一般	相模原市	直接	—	ポンプ場	改築	ポンプ場長寿命化事業	設備更新工事（6箇所）	相模原市	■	■	■	■	■	500		策定済
	「相模原市下水道ストックマネジメント計画」に基づく事業																		
	A07-004	下水道	一般	相模原市	直接	—	管渠（汚水）	改築	公共下水道流量中央監視盤更新事業	流量計長寿命化更新工事 22組	相模原市	■	■				207		—
	小計																		
	合計																		
	合計																		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	881	687	37	50	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	△9	0	
交付額 (c=a+b)	881	687	28	50	
前年度からの繰越額 (d)	0	793	556	28	
支払済額 (e)	88	923	556	28	
翌年度繰越額 (f)	793	556	28	50	
うち未契約繰越額 (g)	0	231	11	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	1	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	15.67	1.88	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		H31 (R1) 補正にて交付された230,835千円が未契約繰越のため			

事前評価チェックシート

計画の名称： 相模原市の下水道における防災・減災対策計画（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1 基本計画・上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 相模原市下水道基本計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等（相模原市下水道ビジョン、相模原市下水道施設地震対策事業計画、相模原市下水道施設維持管理計画）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 都市基盤の確保という観点から地域のニーズが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 3 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 5 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 事業実施のための住民との合意形成が図られている。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。

○